

教 科	国語	科 目	言語文化	単位数	2
学 年	1	教科書	新言語文化 改訂版（三省堂）		
学 科	全学科	副教材	新言語文化学習課題ノート（三省堂） 常用漢字 ダブルクリア五訂版（尚文出版）		

学習目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。 (2) 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。 (3) 言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 読書の意義について 食器棚の奥で 魔法を知る 2 言語文化について 児のそら寝 羅生門	1・筆者の視点が捉えている事柄やその述べ方の共通点、筆者独自のものの見方について考えます。 ・自分の言語文化体験について話し合います。 2・登場人物の人物像について、人物設定を整理したうえで、考えたことを話し合います。 ・「下人」の考えの変化について考え、話し合います。
2	3 構成や展開について 絵仏師良秀 十八史略 4 継承と創造について 伊勢物語 待ち伏せ	3・訳文を参考にして大意を捉えます。 ・火について描写した特徴的な表現を抜き出します。 ・文章中の表現から、筆者の考え方を説明します。 4・特徴的な表現をもとに和歌に込めた心情を理解します。 ・文章中の表現をもとに、「私」の心情の変化を捉え、説明します。
3	5 韻文について 漢詩四編 短歌七首 6 認識の在り方について 徒然草 なめとこ山の熊	5・漢詩の中から一編選び、感想や印象を文章にまとめます。 ・短歌に描かれた情景や心情を理解します。 6・「神無月のころ」と「家居のつきづきしく」を読み比べて共通点を探し、本文を引用しながら文章にまとめます。 ・登場人物たちの関わりや思いを、それぞれ整理します。
課題	①予習・復習…教科書、課題ノート、ICT機器を用いて予習・復習します。 ②夏休み課題…レポート、夏休み課題ノートに取り組みます。 ③冬休み課題…冬休み課題ノートに取り組みます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読書の意義について	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	我が国の文化的背景について理解を深め、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	・ノートの記述内容 ・ワークシート ・定期考査	・学習課題ノートの内容 ・定期考査	・課題への取り組み ・発表内容
言語文化について	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるために粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。

評価方法	・ ノートの記述内容 ・ ワークシート ・ 定期テスト	・ 学習課題ノートの内容 ・ 定期考査	・ 課題への取り組み ・ 発表内容
構成や展開について	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができる。	表現技法を踏まえて、内容の解釈を深めることに向けて、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	・ ノートの記述内容 ・ ワークシート ・ 定期テスト	・ 学習課題ノートの内容 ・ 定期考査	・ 課題への取り組み ・ 発表内容
継承と創造について	歴史的な文学背景、グローバルな視点について理解を深めている。	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解し、内容解釈に向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	・ ノートの記述内容 ・ ワークシート ・ 定期テスト	・ 学習課題ノートの内容 ・ 定期考査	・ 課題への取り組み ・ 発表内容
韻文について	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解し、内容の解釈を深めるため、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	・ ノートの記述内容 ・ ワークシート ・ 定期テスト	・ 学習課題ノートの内容 ・ 定期考査	・ 課題への取り組み ・ 発表内容
認識の在り方について	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、工夫することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述内容	小テスト、定期考査、提出物の記述内容	課題や言語活動への取組や提出物の記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B C の3段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	国語	科 目	現代の国語	単位数	2
学 年	1	教科書	新 現代の国語 改訂版（三省堂）		
学 科	全学科	副教材	新現代の国語学習課題ノート（三省堂） 常用漢字 ダブルクリア五訂版（尚文出版）		

学習目標	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2) 論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 わかり合うために 届く言葉、届かない言葉 聞く力 2 確かな情報を伝えるために 情報は作られる ひとまず、信じない	1・文章を読み、概要を把握します。 ・主張と事例の関係を捉え直します。 2・「情報はつくられる」とはどのようなことか、説明します。 ・文章を読み、概要を把握します。 ・情報と適切につきあう方法について話し合います。
2	3 情報をいかすために 人が死なない防災 4 よりよい読み手となるために 水の東西、コインは円形か 5 場に応じて伝えるために 中身当てクイズ	3・「『逃げる住民』をどうやってつくるのか」という筆者の問いかけに対する答えを考えます。 4・それぞれの部分で、筆者の主張がどのような事実に基づいているかを整理・分析します。 5・各自でクイズの答えを考えます。 ・グループでクイズの答えとその根拠を意見交換します。
3	6 説得力を高めるために 小さな哲学者 7 考えを共有していくために 最短ルートは店の中 8 よりよい書き手になるために ものとことば	6・文章を読み、概要を把握します。 7・筆者の伝えたかったことは何か、自分の言葉で適切にまとめます。 8・共通するテーマについて書かれた複数の文章から考えたことを、具体的な事例を用いて書きます。
課題	①予習・復習…教科書、課題ノートを用いて予習・復習します。 ②夏休み課題…読書感想文、夏休み課題ノートに取り組みます。 ③冬休み課題…冬休み課題ノートに取り組みます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わかり合うために	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	言葉の働きを理解し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
確かな情報を伝えるために	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し、使っている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割に興味を持ち、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
情報をいかすために	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。	目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。	集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。

よりよい読み手となるために	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、文章の構成や論理の展開などについて考えを深めている。	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
場に応じて伝えるために	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。	相手の理解が得られるように表現を工夫することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
説得力を高めるために	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
考えを共有していくために	比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。	修辞や直接的な述べ方、婉曲的な述べ方について理解し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
よりよい書き手になるために	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉え直している。	他者からの助言を踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直すことに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。
評価方法	小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述内容	小テスト、定期考査、提出物の記述内容	課題や言語活動への取組や提出物の記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、５段階で評価します。			

教 科	地理歴史	科 目	地理総合	単位数	2
学 年	1	教科書	わたしたちの地理総合 改訂版（山川出版社） 詳解現代地図 改訂版（山川出版社）		
学 科	全学科	副教材	なし		

学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 章 地図と GIS の活用	・地図の読図などを基に、方位や時差・日本の領域などを学びます。 ・日本の位置と領域などを学びます。 ・国内や国家間の結びつきについて学びます。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる技能を学びます。
2	2 章 生活文化の多様性と国際理解 3 章 地球的課題と国際協力	・世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、変容することなどを学びます。 ・世界の人々の生活文化自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを学びます。 ・地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などを学びます。
3	4 章 生活圏の諸課題	・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどを学びます。 ・自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性について学びます。 ・各種の地理情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けます。
課題	①予習・復習…教科書を用いて予習・復習をします。 ②夏休み課題…レポートを作成します。 ③冬休み課題…レポートを作成します。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図とGISの活用	様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。	国内や国家間のつながりに影響する事象について、自ら視点を設定して、多面的に考察しようとしている。	国内や国家間のつながりに影響する事象について、自ら視点を設定して多面的に考察しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
	人々の生活が地理的環境から影響を受けたり、与えたりして多様性をもつことについて理解している。	主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	興味・関心をもって、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察しようとしている。

評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・授業態度 ・提出物の内容
地球的課題と国際協力	地球環境問題、人口・食料問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した取組や国際協力が必要であることを理解している	地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	身近にある課題が地球規模で取り組むべき SDGs と関連していることを構造的に捉え、課題解決のための具体的な行動を主体的に起こそうとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・提出物の内容 ・授業態度
生活圏の諸課題	様々な自然災害に対応した各種の地理情報について、情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。	主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的に考察し、表現している。	ハザードマップや GIS などを活用し、自然災害についてさまざまな背景から考察することに意欲的に取り組んでいる。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・定期考査 ・提出物の内容	・提出物の内容 ・授業態度
内容のまとめりとともに学習目標の到達度を基に各観点において A B C の 3 段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、5 段階で評価します。			

教科	数 学	科目	数 学 I	単位数	3
学 年	1	教科書	高校数学 I 新訂版（実教出版）		
学 科	全学科	副教材	高等学校数学 I サブノート 新訂版（実教出版）		

学習目標	①数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ②数学を活用して事象を論理的に考察する力や、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 数と式 ・ 整式 ・ 実数 ・ 方程式と不等式	- 文字を含んだ式のきまり、整式の加法・減法、乗法、展開、因数分解を学びます。 $\sqrt{\quad}$を含む式の四則計算の理解を深めます。 - 分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを学びます。 1次方程式、1次不等式、連立不等式について学びます。
	2 三角比 ・ 三角比 ・ 三角比の応用	- 鋭角の三角比（$\sin A$、$\cos A$、$\tan A$）を学びます。 - 三角比の相互関係を学びます。 - 三角比を鈍角まで拡張する意義を学びます。 - 三角形の面積、正弦定理、余弦定理について学びます。
2	3 2次関数 ・ 関数とグラフ ・ 2次関数の値の変化	1次関数と2次関数のグラフを学びます。 2次関数の最大値・最小値を学びます。 2次関数のグラフを用いて、2次方程式、2次不等式について学びます。
3	4 データの分析 ・ データの分析	- 統計グラフと度数分布表について学びます。 - 代表値、データの散らばり、相関関係について学びます。
	5 集合と論証 ・ 集合と論証	- 集合の概念や用語について学びます。 - 命題の真偽や逆、対偶、いろいろな証明について学びます。
課題	① 予習や復習を行い、教科書や問題集を活用し、理解の定着に努めます。 ② 夏休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、1学期までの内容の復習を行います。 ③ 冬休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、2学期までの内容の復習を行います。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式	・式の見方を豊かにするとともに、整式の四則計算、および因数分解について理解を深めることができる。 ・$\sqrt{\quad}$を含む式の四則計算ができる。 ・1次不等式や連立不等式を解くことができる。	・公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できる。 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・不等号の性質を等号の性質と対比してとらえ、不等式の性質を基に1次不等式の解き方を考察できる。	・式の展開や因数分解、$\sqrt{\quad}$を含む式の計算に関心をもち、積極的に取り組もうとしている。 ・数量関係を不等式で表すことのよさが分かり、意欲的に考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・提出物 ・定期考査	・振り返りシートの記述 ・授業態度
三角比	・三角比の意味や三角比の相互関係を理解できる。 ・三角比を用いて三角形の辺の長さや角の大きさ、面積等を求めることができる。	・日常の事象について、三角比や正弦定理・余弦定理などを利用して高さや距離が求められることを考察できる。	・実測が難しい距離や角の大きさなどを、三角比の公式などを用いて考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・提出物 ・定期考査	・振り返りシートの記述 ・授業態度
2次関数	・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の最大値・最小値を理解している。 ・2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。	・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 ・定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。	・身の回りの現象で、関数の関係になっているものに関心をもち、調べようとしている。 ・2次関数の値の変化に関心をもち、具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・提出物 ・定期考査	・振り返りシートの記述 ・授業態度
データの分析	・代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や用い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。	・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。	・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。
評価方法	・小テスト ・定期考査	・提出物 ・定期考査	・振り返りシートの記述 ・授業態度

集合と論証	・ 集合に関する基本的な概念を理解できる。 ・ 命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。	・ 集合と命題の関係を考察できる。 ・ 対偶などを利用して、簡単な命題の真偽を考察できる。	・ 具体的な事象を、集合で表すことのよさについて理解しようとしている。 ・ 身の回りの話題から、命題を考察して、積極的に調べようとしている。
評価方法	・ 小テスト ・ 定期考査	・ 提出物 ・ 定期考査	・ 振り返りシートの記述 ・ 授業態度
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います。各観点の評価を総括し、５段階で評価します。			

教 科	理科	科 目	化学基礎	単位数	2
学 年	1	教科書	高等学校 改訂 新化学基礎（第一学習社）		
学 科	全学科	副教材	改訂 ネオパルノート 化学基礎		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化を学びます。 ② 観察・実験などを行い、事物現象を確認・理解します。 ③ 化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を学びます。
------	---

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 化学と人間生活 2 物質の構成とその構成要素 3 化学結合	- 生活の中の化学について学びます。 - 混合物と純物質、元素・単体・化合物、粒子の運動、物質の状態について学びます。 - 原子の構造、原子の電子配置、イオンの生成元素の周期表について学びます。 - 粒子の結合の種類について学びます。
2	4 物質と化学反応式 5 酸と塩基の反応	- 原子量・分子量・式量、物質の濃度、化学反応式、化学変化の量的関係について学びます。 - 酸と塩基、水素イオン濃度と pH、酸・塩基の中和、塩の性質について学びます。
3	6 酸化還元反応	酸化と還元、酸化剤と還元剤、金属のイオン化傾向、酸化還元反応と人間生活について学びます。
課題	① 予習・復習…教科書を用いて予習・復習します。 ② 夏休み課題…自由研究を実施し、結果を整理し、レポートにまとめます。 ③ 冬休み課題…科学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学と人間生活	- 身の回りの物質について分類ができる。 - 元素名と元素記号について理解できる。		身の回りの物質について、分類や分離の方法について考えようとしている。
評価方法	- ノートの記述内容 - 定期考査		発表内容
物質の構成とその構成要素	- 物質が混合物と純物質に分けられることを理解できる。 - 原子の構造と原子番号の関係について理解できる。	- 混合物、純物質、単体、化合物について考察できる。 - 原子番号と原子の性質の関係性について考察できる。	身の回りの物質について、物質の特性と化学結合の関連について積極的に考えようとしている。
評価方法	- 小テスト - 問題集 - 定期考査	- プリントの記述内容 - 小テスト - 定期考査	- 発言内容 - 演習への取組 - プリントの記述内容

化学結合	・イオン結合、共有結合、金属結合の違いと性質について理解できる。	・分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに分子の構造について考察できる。	・物質に関心をもち、物質の取り扱いを理解しようとしている。
評価方法	・小テスト ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・演習への取組 ・プリントの記述内容
物質と化学反応式	・原子量、分子量、式量の意味を理解できる。 ・物質に関連する計算ができる。	・物質と粒子の個数質量、気体の体積について考察し、関係を説明することができる。	・化学反応式の係数決定について意欲的に考えようとしている。
評価方法	・小テスト ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・演習への取組 ・プリントの記述内容
酸と塩基の反応	・pHの意味及び計算が理解できる。 ・中和反応式の組み立てができる。 ・酸や塩基の強弱による塩の性質の違いについて理解できる。	・中和反応で起こる変化を、化学式を用いて考察できる。 ・pH曲線として示すことができる。 ・実験器具の使用方法について考え、適切な操作ができる。	・身の回りにある物質のpHについて考察し、物質の性質と関連付けることができる。 ・中和反応の実験において、目的を理解し、適切に観察や記録を行うことができる。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
酸化還元反応	・酸化数の計算ができる。 ・酸化還元反応式の組み立てができる。 ・金属のイオン化傾向と変化について理解できる。	・反応前後の電子の授受から、酸化還元反応の理屈を考察できる。 ・酸化還元反応で起こる変化を、化学式を用いて考察できる。	・身の回りにある酸化還元反応について、反応や変化を化学的に考察できる。 ・身の回りにある金属について関心を広げ、金属の特性とイオン化傾向を関連づけて考察できる。
評価方法	・実験操作 ・問題集 ・定期考査	・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査	・発言内容 ・実験への取組 ・プリントの記述内容
化学が拓く世界		・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのように生かされているか考察することができる。	・「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのように生かされているかに注目し、意欲的に探求しようとする。
評価方法		・レポートの記述内容	・発表内容

内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。

教 科	保健体育	科 目	体育	単位数	3
学 年	1	教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）		
学 科	全学科	副教材	現代高等保健体育ノート改訂版（大修館書店）		

学習目標	① 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにする。 ② 課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ③ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てる。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 体づくり運動	・体ほぐしの運動を通して、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わいます。
	2 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします。（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	3 体育理論	・スポーツの始まりとその変容について理解します。
2	4 球技	・種目の特性を理解し、ゲームができるようにします（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	5 体育理論	・オリンピックとパラリンピックの意義やスポーツが経済に及ぼす影響について理解します。
3	6 陸上競技	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己の能力に応じた課題解決を目指します。（長距離走）
	7 球技	・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、勝敗を競うことの楽しさや喜びを味わいます。（ゴール型、ネット型、ベースボール型）
	8 体育理論	・スポーツの高潔さとドーピングやスポーツと環境について理解します。
課題	① 見学者は見学カードに必要事項を記入し、レポートを作成して提出します。 ② 長期休業中は、授業で学習した内容を生かして体力の維持・向上に努めます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。	ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。	体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	学習カード 観察	学習カード 観察	学習カード 観察
球技	各種目の技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出し	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間	球技の学習に自主的に取り組もうとしている。相手を尊重するなどのフェアプレイを大切にしようとしている。

	たりしている。(共通) ゴールの枠内にシュートをコントロールでき、味方が操作しやすいパスを送ることができる。 (ゴール型) サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができ、ボールを相手の側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。 (ネット型) 身体の軸を安定させてバットを振りぬくことができ、タイミングを合わせてボールを捉えることができる。ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げるができる。 (ベースボール型)	に伝えている。 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返っている。	作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 健康・安全を確保している。
評価方法	学習カード 観察	学習カード 観察	学習カード 観察
陸上競技 (長距離走)	長距離走で用いられる技術には名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを言ったり書きだしたりしている。 リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全を確保している。
評価方法	学習カード 観察 記録会	学習カード 観察	観察
体育理論	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、言ったり書き出したりしている。	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価方法	確認テスト 観察	確認テスト 観察	観察

内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行います、学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、５段階で評価します。

教 科	保健体育	科 目	保健	単位数	1
学 年	1	教科書	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）		
学 科	全学科	副教材	現代高等保健体育ノート改訂版（大修館書店）		

学習目標	① 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。 ② 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ③ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 安全な社会生活	・安全な社会づくりについて、環境の整備とそれに応じた個人の取組について理解します。 ・適切な応急手当について、正しい手順や方法を学習し、実習などを通して心肺蘇生法の適切な行い方を身に付けます。
2	2 現代社会と健康	・健康の考え方について、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化について理解します。 ・生活習慣病などの予防と回復について、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策の必要性などについて理解します。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、喫煙や飲酒は生活習慣病の要因になることや薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響などについて理解します。
3		・精神疾患の予防と回復について、調和のとれた生活を実践することや心身の不調に気づくことの重要性などを理解します。 ・現代の感染症とその予防について、個人の取組と社会的な対策について理解します。 ・健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて理解します。
課題	現代保健ノートの問題を予習・復習に活用する。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
安全な社会生活	事故の現状と発生要因及び安全な社会の形成について、理解したことを言ったり書いたりしている。 応急手当の意義や日常的な応急手当の方法について、理解したことを言ったり書いたりしている。 AED などを用いて心肺蘇生法ができる。	安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 安全な社会生活について、自他や社会の課題解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し	安全な社会生活について、課題解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。

		たりして、道筋を立てて説明している。	
評価方法	定期考査及び実習 観察	定期考査及び実習 ノートの記述内容 観察	ノートの記述内容 観察
現代社会と健康	健康の考え方と生活習慣病の予防と回復について、理解したことを言ったり書いたりしている。 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。 精神疾患の特徴と対処について、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、道筋を立てて説明している。	現代社会と健康について、課題解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	定期考査 観察	定期考査及び実習 ノートの記述内容 観察	ノートの記述内容
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います、学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			

教 科	芸術	科 目	音楽 I	単位数	2
学 年	1	教科書	音楽 I 改訂版 Tutti+		
学 科	全学科	副教材	なし		

学習目標	①音楽の基本的な知識を身に付け、様々なジャンルの音楽に関心を持ち、それぞれの曲の面白さや美しさを感じ取り表現する。 ②音楽の背景となる歴史や文化に興味を持ち、楽曲に対するイメージをもって音楽を表現する楽しさを知る。 ③アンサンブルや合唱などの活動に主体的に取り組み、仲間と協力し合う姿勢や、相手を思いやる心を育む。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	・独唱曲 校歌、日本歌曲、イタリア歌曲 ・器楽曲 さくらさくら（箏曲） ・合唱曲 二部合唱、三部合唱	・歌うことの楽しさを感じ、積極的に表現活動に取り組む。 ・詩の内容を理解し、音楽の構成や曲想との関係を感じながら歌唱表現する。 ・音符の長さやリズムを理解し、正確に表現する。 ・日本の伝統文化に触れ、その魅力を知る。 ・合唱の楽しさを知り、互いに協調し合って音楽を作り上げる。 ・各パートの特徴や役割を理解して表現の工夫をする。
2	・西洋音楽史と鑑賞 ・器楽曲（リコーダー）	・楽曲の文化的・歴史的背景や、各時代における音楽の様式の特徴を理解して音楽を鑑賞する。 ・楽曲の構成や音楽の要素を理解し、その良さを味わう。 ・リコーダーの基本的な奏法を習得する。
3	・アンサンブル（リコーダー） ・日本の伝統音楽 ・世界の民族音楽	・互いに協力し合い、調和の取れたアンサンブル活動を行う。 ・日本の伝統音楽に触れ、日本の文化に対する理解を深める。 ・様々な国や地域の音楽に興味関心を持ち、理解を深める。 ・芸術における価値観の多様性を理解する。
課題	①学期ごとにレポートを提出する。 ②長期休業中には課題レポートに取り組み、家庭やコンサートなどで様々な音楽を聴くなど、積極的に音楽に親しむ。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・独唱曲 ・合唱曲	様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形作る諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。	様々な表現形態の音楽を幅広い視点から捉えようとするに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	実技試験、小テスト、 ワークシートの記述内容	実技試験、小テスト、 ワークシートの記述内容	ワークシートの記述内容 学習活動への取組
・ 器楽	曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表現している。	音楽を形作る諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	楽器の奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	実技試験、小テスト、 ワークシートの記述内容	実技試験 ワークシートの記述内容	ワークシートの記述内容 学習活動への取組
・ 鑑賞	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽や民族音楽の種類やその特徴について理解している。	音楽を形作る諸要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	様々な音楽の背景にも関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	小テスト ワークシートの記述内容	小テスト ワークシートの記述内容	ワークシートの記述内容 学習活動への取組
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてＡＢＣの３段階で評価を行う。 各観点の評価を総括し、５段階で評価する。			

教 科	芸術	科 目	美術 I	単位数	2
学 年	1	教科書	新・高校生の美術 1（日本文教出版）		
学 科	全学科	副教材	なし		

学習目標	① 造形感覚や技能を身に付ける。 ② 美術活動を通して、美術を愛好する心情を育てる。 ③ 鑑賞能力を高め、芸術文化について理解を深める。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 鑑賞	・幅広い美術の領域、分野を理解し、味わう
	2 絵画	・スケッチ、鉛筆デッサン、モダンテクニック
	3 デザイン	・文字のレタリングとタイポグラフィ
2	4 映像メディア表現	・写真やアニメーションの表現の特性を学ぶ
	5 絵画	・視覚のトリックを生かした作品制作
	6 デザイン	・学科の特性を生かしたパッケージデザイン
3	7 絵画	・油彩による抽象表現
	8 彫刻	・粘土を用いた造形表現
課題	① 予習・復習…アイデアスケッチを行う ② 夏休みの課題…ポスターの制作	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 表現 (1) 絵画・彫刻 (2) デザイン (3) 映像メディア表現 B 鑑賞	形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを実感的に理解できている。 作品全体のイメージや作風などで捉えることを実感的に理解できている。 発想や構想をしたことを基に、材料や用具などを生かしたり、表現方法を工夫したりして主題を追求し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたり深めたりすることができている。	主題の意義を理解し、表現することに関心を持っている。 発想や構想を練るためにアイデアスケッチを熱心に繰り返し描く、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして見方や感じ方を深めようとしている。 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	アイデアスケッチや作品、ワークシートの記述内容	アイデアスケッチや作品、ワークシートの記述内容	アイデアスケッチや作品、ワークシートの記述内容、授業や課題への取組
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。 各観点の評価を5段階で評価します。			

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3
学年	1	教科書	VISTA English Communication I New Edition(三省堂)		
学科	全学科	副教材	VALUE 1000+WARM UP 200語 (数研出版) Listening Pilot Level 1 (東京書籍) Zoom入門ノート (第一学習社)		

学習目標	① 必要な情報から相手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じてとらえる力を養う。 ② 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付ける。 ③ 情報や考え、気持ちなどを論理性に注意し、話したり書いたりして伝える力を養う。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	Pre Lesson 1,2 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3	中学校課程の復習。be 動詞、一般動詞の現在形。自己紹介。 be 動詞、一般動詞の過去形とその用法。春休みの活動。 現在進行形、過去進行形。好きなものについて。 助動詞の用法。カプセルトイの面白さについて。
2	Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	動名詞の用法。ピクトグラムの役割について。 不定詞の用法。動物写真家の生き方。 現在完了形の用法。 受動態の用法。
3	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	分詞の用法。世界のクリスマス文化。 関係代名詞の用法。芸術と平和への人々の取組。 比較の用法。環境問題からファッションを考える。
課題	①予習・復習・・・教科書、プリントを用いて予習・復習します。 ②夏休み課題・・・まとめのワークを仕上げ、基礎力の定着を図ります。 ③冬休み課題・・・学習した単元のテーマに基づき、調べたことをレポートにまとめます。	

評価の観点 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Pre Lesson 1 Hell, Kai!, Hi, Emma!	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自己紹介をわかりやすく的確に述べている。	・自己紹介をわかりやすく的確に伝えようとしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 1 The Aurora	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・春休みにしたことについてわかりやすく的確に述べている。	・春休みにしたことについてわかりやすく的確に伝えようとしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 2 Soy Meat	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・好きな食べ物についてわかりやすく的確に述べている。	・好きな食べ物についてわかりやすく的確に伝えようとしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況

Lesson 3 Capsule Toy	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自分が好きなカプセルトイについてわかりやすく的確に述べている。	・自分が好きなカプセルトイについてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 4 Pictograms	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自分が見たピクトグラムについてわかりやすく的確に述べている。	・自分が見たピクトグラムについてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 5 We Are Part of Nature	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自分がしている環境対策についてわかりやすく的確に述べている。	・自分がしている環境対策についてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 6 A Small, but Happy Country	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自分が紹介したい場所についてわかりやすく的確に述べている。	・自分が紹介したい場所についてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 7 AI and Sports Refereeing	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・自分が使ってみたいAI製品についてわかりやすく的確に述べている。	・自分が使ってみたいAI製品についてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 8 Is There a Santa Claus?	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・休み中の計画についてわかりやすく的確に述べている。	・休み中の計画についてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況
Lesson 9 Kids' Guernica	・適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	・これから取り組みたい平和のためのイベントについてわかりやすく的確に述べている。	・これから取り組みたい平和のためのイベントについてわかりやすく的確に伝えようしている。
評価方法	・小テスト ・プリント ・定期考査	・言語活動への取り組み状況 ・定期考査	・課題の提出状況 ・発表内容 ・授業中の取り組み状況

Lesson 10 Ethical Fashion	適切な文法、語法、表現を使ってフォーマットに基づいて書く。	自分が使ってみたい環境にやさしい製品についてわかりやすく的確に述べている。	自分が使ってみたい環境にやさしい製品についてわかりやすく的確に伝えようとしている。
評価方法	- 小テスト - プリント - 定期考査	- 言語活動への取り組み状況 - 定期考査	- 課題の提出状況 - 発表内容 - 授業中の取り組み状況
内容のまとまりごとに、学習目標の到達度を基に各観点においてA B Cの3段階で評価を行います。学期末には各観点の評価を総括し、成績を算出します。学年末には、各学期の評価より算出した各観点の評価を総括し、5段階で評価します。			